

14

東谷山

とく ぐく さん

所在地：名古屋市守山区大字上
志段味字東谷の一部

—大都市周辺に残る豊かな自然環境—

面積 (ha)

特別地区	普通地区	合計
12.40	15.27	27.67

名古屋市東北部に位置する東谷山の北側には、自然度の高い常緑広葉樹林が残されています。また、南部の湿地にはシデコブシの他東海地方を特徴づけるシラタマホシクサ、シマジタムラソウ、サギソウなどが生育しています。

このほかにも国や県、名古屋市のレッドリストに記載される植物などが多く生育しています。

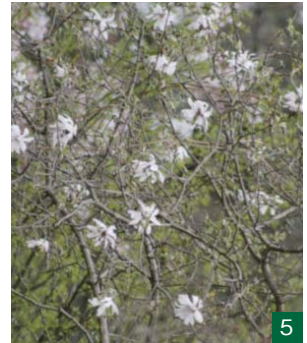
このように、この地域は名古屋市内という大都市の中にありながらも豊かで優れた自然が残された地域です。

この地域の特徴としては、北部にはスダジイ、アラカシが優先する名古屋市内では規模の大きい常緑広葉樹林がその一つとなっています。またこの林内にはヤブツバキ等の常緑広葉樹やタカノツメ等の落葉広葉樹なども見られます。

また、湿地にはヒメタイコウチが生息しているほか、林内にはムササビなどが生息しています。

この地域周辺の丘陵地は砂礫を含んだ粘土質で、雨水の浸透を妨げ南部には希少種が生育する貧栄養湿地を形成しています。

この地域は標高198mと名古屋市内の最高所となっており、頂上には尾張戸神社の社が建っています。



1：全景 2：サギソウ

3：シラタマホシクサ

4：尾張戸神社 5：シデコブシ

15

砦山

とりで やま

所在地：北設楽郡豊根村坂字場字広野の一部

—モミ・ツガ・ヒノキの巨木が並ぶ 伝説の地—

面積 (ha)

特別地区 (全域)
3.36

砦山は、茶臼山を源流とする坂宇場川と日余沢にかこまれた区域で、後醍醐天皇の孫にあたと伝えられている尹良(ゆきよし)親王が砦を築いたところと言われています。

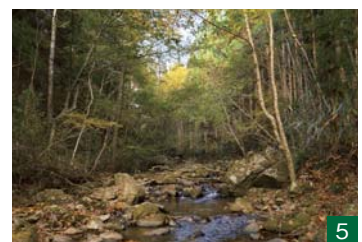
山頂部には祠跡が見られ、地域の人々が祭礼をするなど、大切にされて来たため、人の手が入ることが少なく自然林に近い林が残されており、モミ・ツガ・ヒノキの巨木や河畔林など優れた生態系が成立しています。

周辺には植林地が多くある中で、人里に近い場所でこの地域の潜在植生をうかがい知ることができる数少ない場所となっています。

この地の特徴としては、尾根部のツガ・ヒノキの巨木群のほか、中腹にはアセビも見られます。また、川岸にはイヌシデ・ミズメなどの河畔林や合流部にはコナラ等の落葉広葉樹林が見られます。

坂宇場川沿いの中腹の一部がスギの植林地となっていますが、近年人の手が入ることが少なく、天然林的な要素が見られ自然の遷移の過程をみることができます。

中腹から尾根にかけてクロソヨゴやアクシバ、腐生植物のギンリョウソウが見られます。また、希少な動植物としてヤシャビシャク、カジカガエルなどが確認されています。



1：ヒノキ林

2：全景

3：ほこら

4：ヒノキの巨木

5：河畔林